

進路講演会報告及び生徒感想

日程 平成26年10月30日(木)
1年生：午後2時40分～午後3時30分
2年生：午後3時40分～午後4時30分

場所 本校体育館

講師 原 清治先生 (佛教大学教授)

昨年に引き続き、佛教大学の原清治先生に講演をしていただきました。今回も受験という視点にとどまらず、キャリア教育の一環として、学びの意味やその先に広がる人生・社会といった大局的視点を生徒達に考えさせる熱い講演をしていただきました。



1年生へは「なぜ学ぶのか、学びの楽しさ」という演題で講演していただきました。その中で、目標を持つ大切さや自己実現をするために自信を持って夢を語る大切さ、文系理系の科目に関わらず今の学びが役に立つことなど、将来への大きな選択（文理選択）を控えた1年生にアドバイスをしていただきました。



2年生へは、「進路実現へ向けた学びと成長」という演題で講演していただきました。受験勉強から1つ先の視点として、社会が必要とする考える力や他者と関わる力の大切さについて話していただきました。

また、大学・会社で行われているグループ研修や面接試験などの実例（その場で5人グループをつくる）や受験期を迎える2年生にとって学力とともに人間力が大切だという話に、生徒は心を動かされたようでした。

感想紹介

【1年生】

・自分の夢は教師です。教師になるためにはすべての教科をしっかりとこなさなければならないことをしっかりと学んだので、目標に向かって授業からしっかりとやっていきたいと思いました。また、先生の「妥協するな」という言葉を聞き、やれるところまでやってやろうやないかを思うことができた。

・なんとなく高校生活を送って無駄な3年間を過ごすよりも、毎日目標を立てて、「行ける大学」ではなく、「行きたい大学」に行き、自分が好きなことをたくさん学んで、それを生かせる仕事に就く。そんな人生にしたいと思いました。そのためには、まずは勉強を頑張ろうと思います。今はやりたくないなと思ってやっていることも結構ある勉強ですが、今日の講話を聴いて嫌なことでも逃げずに頑張ろうととても思いました。

・とても楽しい講話でした。原先生の言うことがすごく自分の身にしみました。私はまだ進路のことで進む大学を決められていないので、なるべく早く見つけるようにしたいです。そして、その大学進学に向けて一生懸命勉強して、自分の夢を実現させたいです。自分の夢は誰かに言った方がいいんだということを知り、まず自分の周りにいる人に言うてみようかな、と思いました。原先生の話大切にしてくださいこれから頑張ってみようと思います。

【2年生】

・講義の中で「5人で1つのグループをつくる」という話を聞いたとき、普段一緒に学校生活を過ごしている自分を含めた5人の顔が浮かびました。しかし、「もう1人2人が余ってしまった人がいたらどうするか」という問にはすぐに答えがでませんでした。そのあと、「6人でグループをつくる」「他の人の代わりになる」という答えを、他の人が話をしてくれましたが、聞くまで思いつきませんでした。今回のお話から、1つのことに対して、いろいろな方法を見つけていくことの大切さを改めて感じました。1つの意見にとらわれず、他の視点から物事を見ていきたいです。

・原先生の話聞いて、自分が良ければ周りのことはどうでもいいのか？という言葉に感動を覚えました。私の場合は、自分から声を掛けたり掛けられたり、たぶん浮くことはないと思います。だけど、そういう環境に満足しているだけじゃいけない、というふうに思いました。高2の秋というのは自己実現をしていく上で大切な分岐点でもあり、周りの人とどう関わっていくかを通して、自分を高めていかねかればいけない時期だと思うので、しっかりと自分と向き合って、これから自分の夢を実現させていくにはどう行動したらいいのか考えていきたいと思いました。

・原先生の進路講話を聴いて、私は多分、自分が5人グループをつくれたら、すぐに座っていると思いました。残っている人があまりにも時間がかかっている場合は、声を掛けたかもしれませんが、おそらく黙っていたと思います。でも、今回の話を聴いて、そんな自分のことだけの考え方は、必要とされないことが分かりました。これからは、自分さえよければではなく、他の人のことを考えるようにしたいと思いました。